

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号

女26

年月日	2024 年 3 月 26 日 (火)
大会名	令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	昭和学院高等学校										大阪商業大学堺高等学校										B
都道府県 三重県			市町村 津市				会場 サオリーナ メインAコート										回戦 3回戦				
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m70- コート	A	B							
	20	9		34	21																
7m得点/総数		A 3/3		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/3		7m得点/総数									
		1		2 後 3 2006			1		2 後 3 1758 1429												

No.	昭和学院	G	W	2'	D	DR	No.	大商大堺	G	W	2'	D	DR
1	関口 華恋						1	宮本 愛莉					
2	牧 琴音						2 c	向永 美咲	6				
3	荒井 七香						3	室田 桃子	3				
4	杉山 日菜	5	1				4	牧野 結彩					
5	倉持 愛泉	8					5	平松 來実	3				
6	永井 桜莉	1					6	高嶋 玲衣	3		1		
7 c	加藤 真央	10					7	小西 アンリ	2				
8	中村 真心	4					8	佐藤 空果					
9	齋藤 史歩	4					9	久保 陽和	4				
10	アシュール 莉麻	1					10	杉本 愛琉					
11	石井 華						11	赤井 かがり					
12	関川 暖絆						12	山根 和佳奈					
13	荒川 玲奈						13	松本 一穂					
14	河野 紘依	1					14	野尻 咲良					
15	小川 未来						15	永井 千代					
17	小林 玲舞						16	石田 琴音					
監督A	佐藤 奏吉						監督A	平田 彰					
役員B	浅井 大						役員B	大久保 将司					
役員C	田代 佳克						役員C	中筋 真奈美					
役員D	町澤 凜花						役員D	鍬田 華美					

A	チーム役員A署名	B
---	----------	---

特記事項

レフェリー	林 るうな	浜口 弦大	
TD	栗田 顯	加藤 智史	
MO	小橋 太		

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	女26	女子 [①]
----------	-----	-------------

令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月26日 (火)		会場	サオリーナ メインコート	
種別	女子		回戦	3回戦	
Aチーム名			Bチーム名		
昭和学院高等学校			大阪商業大学堺高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
34	20	前半	9	21	
	14	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評			記載者氏名	江森友哉	
<p>昨日の2回戦を順調な試合展開で勝ち上がってきた両校による3回戦は、昭和学院のスローオフで開始。序盤から両校一步も譲らないハイレベルな試合展開。昭和学院はNo.5倉持の高さを生かした豪快なミドルで先制。大商大堺はGKを下げた7人攻撃を徹底。No.3室田のカットイン、No.7小西のサイドシュートなど幅広い攻撃を仕掛ける。互いに2点をリードする場面もあったが、前半10分を経過しても1点を争う拮抗した状況が続く。試合に動きが見え始めたのは前半15分。大商大堺が獲得した7mTを昭和学院No.1関口がファインセーブ。勢いに乗った昭和学院はNo.7加藤の2連取、No.5倉持のカットインなど、前半25分を経過し一挙8点のリードを奪取。大商大堺も流れを取り戻すべく、7人攻撃を継続し対抗するが、前半を終了し20対9で昭和学院が11点をリードして前半を折り返す。</p> <p>後半の立ち上がりは大商大堺No.2向永のカットイン、No.9久保のポストシュートで先制。前半の悪い流れを断ち切る幸先の良いスタートを切った。しかし昭和学院の勢いは衰えない。昨日の2回戦同様、GKと連携した打たせて取るディフェンス、オフェンスではNo.5倉持やNo.8中村を中心としたフロウターとNo.7PV加藤が連動したサイドシュートにも繋がる多彩な攻撃で相手を翻弄。得点が停滞する場面もあったが後半20分経過時点で15点をリードし、試合を優位に進めた。大商大堺もNo.6高嶋のカットイン、No.5平松の速攻などで立ち向かう場面もあったが、34対21で昭和学院が勝利。明日の準々決勝へ駒を進めた。</p>					